

特選  
2021  
金融広報中央  
委員会会長賞

## 第19回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

# 寄付でつながる社会

香川県・香川県立観音寺第一高等学校 1年 合田 怜奈

「今年の夏休みはどこにも行けなかったから、その分貯金にまわせるね。」  
夏休みの終わり頃、母が妹とリビングでそう話しているのが聞こえてきた。昨年  
から猛威を振っている新型コロナウイルス（COVID-19）による緊急事態  
宣言やまん延防止等重点措置の影響で、今年の夏休みこそはと楽しみにしてい  
た家族との旅行や映画も、友達とのカラオケやショッピングの予定もキャンセ  
ルになり、出かけないことで洋服やアクセサリーへの出費も減った。どこにも  
行けず、ただただ学校と家の往復を繰り返した退屈だった夏休みがもうすぐ終  
わる。そういえば本来使うはずだった私のお小遣いも、使う当てをなくして少  
し貯まってきた。

これは、我が家だけに起こっている現象ではない。日本銀行が今年4月の展  
望レポートのコラムにおいて、本来あるべき家計消費のうち、感染症下での「消  
費機会の逸失」により抑制されている部分を「強制貯蓄」と呼び、去年1年間  
の累計で20兆円程度（特別定額給付金から貯蓄に回った部分を除く）であると試  
算している<sup>1)</sup>。「お金は経済の血液」というが、目的をもって行う「貯蓄」とは  
違い、本来の目的を失って貯まっていくお金が、コロナ禍の経済をより一層停  
滞させている。

このコロナ禍を乗り切るために、一人一人が「強制貯蓄」の一部を今必要と  
する人に届けることはできないか。「投資」と「寄付」の2つの選択肢を考えたが、  
私は「投資」よりも「寄付」という方法で必要な人に届けてみてはどうかと  
考えた。なぜなら、私は「寄付」には「投資」にはない3つの魅力があると思  
うからだ。

1つ目は、「誰でも参加しやすい」という点だ。「寄付」といえば、著名人が  
災害時などにする多額の支援をイメージする人も多いが、それだけではない。  
私たちが小学校や中学校の頃に学校を通じて参加した赤い羽根共同募金も立派  
な「寄付」の1つだ。「募金」であれば、1円玉や10円玉などの小銭でも参加

しやすく、お金の多寡を問わない。自分のできる範囲から参加できるため、年齢や金融知識にかかわらず、たくさんの人が参加しやすい。また、フードバンク<sup>2)</sup>のように、お金ではなく食品(物)で支援ができる「寄付」の形もある。最近では、近くのスーパーやコンビニにも募金箱や食品支援の回収ボックスが置いてあり、その気にさえなればいつでも支援に参加できる環境が整っている。

2つ目は、「活動内容を知ることによって、支援がより広がる」という点だ。インターネットを通じて手軽に情報を取得したり、参加したりできる「寄付」の形が「寄付型クラウドファンディング」だ。クラウドファンディングとは、「群集(クラウド)」と「資金調達(ファンディング)」を組み合わせた造語で、「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する手段のことだ<sup>3)</sup>。資金を集めたい「起案者」は、詳しい情報をホームページで発信し、応援したいと思った人は誰でも「支援者」として支援ができる。昨年、新型コロナウイルス感染防止のため、和歌山アドベンチャーワールドは2月29日から5月20日までの間、一部エリアで再開をした期間があったものの、臨時休園が続いた。休園中であっても、動物たちの健康を守る食事代や、水道代・電気代等の環境整備に多くの費用が発生する。そのため園は、「和歌山・アドベンチャーワールド 未来のSmile 応援プロジェクト」(クラウドファンディング)として、動物たちが快適に生き生きと暮らしていくために必要な費用の一部を募った。結果このクラウドファンディングには、期間中に目標金額500万円に対し、支援者3,271人、70,701,000円と目標金額の約14倍もの支援が寄せられた<sup>4)</sup>。同じく昨年、新型コロナウイルスによる外出自粛により営業が思うようにできない飲食店の支援策として、堺商工会議所が立ち上げた「地域飲食店応援クラウドファンディングみらい飯」にも、目標金額を大幅に超える1,469人から5,762万円の支援が寄せられている<sup>5)</sup>。これらの2つの事例は、来園時に利用できるパスポートや食事券などのリターンがあるものも含む数字ではあるものの、インターネットを通じて「寄付」を募った成功事例といえる。今後も、支援者に起案者の想いや、支援金の活用方法をより正確に分かりやすく伝えることで、より一層支援の輪が広がっていくことに期待したい。

3つ目は、「気持ちもつながる」という点だ。たとえば先に紹介した和歌山アドベンチャーワールドでは、このクラウドファンディングに取り組むに当た

り、これまで以上に動物たちの様子をホームページでたくさん紹介することにしたそうだ。また、支援者へお礼のメールと共に動物たちの様子を伝えるなど、支援者が自ら支援をした動物たちをより身近に感じ、「つながり」を感じることができる取り組みを意識的に行っている<sup>4)</sup>。寄付をもらって終わりではなく、寄付をもらった側がお礼の気持ちを丁寧に表すことで支援者をつながり、そうすることで支援者はまた応援したいと未来のファンになって支援の気持ちが続いていく。これは、「寄付」だからこそその魅力だと私は思う。

では、「寄付」の日本の現状はどうだろうか。調べてみると、イギリスのチャリティ団体「世界寄付指数」が、世界の国々で「寄付」やボランティアに関する人々の意識をアンケート調査し、ランク付けした「世界寄付指数ランキング」(2009～2018年までの10年間の調査データを集計)データがある。日本は、この調査の中で「寄付をしたか」という項目においては先進国で最下位の64位だった<sup>6)</sup>。また昨年春に、新型コロナウイルス感染拡大により収入が減少した人や、医療従事者を支援することを目的に、多くの著名人が「寄付」を行ったところ、一部で「偽善」や「売名」といった批判がインターネットを通じて広がったことも記憶に新しい。残念ながら日本にはまだ寄付文化が根付いてはいないといえる。

私は今、お小遣いの一部をテレビニュースで見た「子ども食堂」を支援する活動に寄付することを計画中だ。「子ども食堂」とは、地域の交流の拠点づくりと子どもの貧困対策を目的として、地域の子どものたちや保護者を対象に食事を提供するコミュニティだ。まずは、私のできる範囲の支援から始め、やがては家族や周りの友達に「子ども食堂」のことを知ってもらうことで、支援の輪を少しずつ広げていきたいと考えている。

現在日本は、ワクチン接種が進んでいるものの、デルタ株が全国的に広まるなど、新型コロナウイルス感染症の収束は未だに見通しが立っていない。今、たくさん支援を必要としている人たちがいる。そして私たちの手元には、いくらかの支援できるお金(強制貯蓄)がある。そんな今だからこそ、一人一人がもっと「寄付」に対して関心を持ち、自分のできる範囲で支援することを始めるチャンスではないか。「寄付」は、自分の手元に直接お金が返ってくることはない。しかし、今あるお金を少しだけ、「未来をより良くするための投資にまわす」と考えて実践してみてもいいだろう。この取り組みが広がれば、「寄付」という温

かな血液が日本中にたくさん巡り、新型コロナウイルス感染症の収束後にはきっと、社会・経済ともに今までよりももっと元気な日本になっていくと私は思う。

(注)

- 1) 東洋経済ONLINE「日銀『強制貯蓄 20兆円の取り崩し』は楽観的すぎる」 2021年8月20日  
URL <https://toyokeizai.net/articles/-/448302>  
閲覧日 2021年8月30日
- 2) フードバンクとは、ラベルの間違いなどで店頭に出すことができない商品、賞味・消費期限切れ間近の商品、企業が寄付目的で購入する商品などを受け付け、ホームレス・被災者・高齢者・貧困者・児童養護施設などに提供する食料銀行のこと。  
一般社団法人全国フードバンク推進協議会「フードバンクとは」  
URL <https://www.fb-kyougikai.net/foodbank>  
閲覧日 2021年8月30日
- 3) Crowd Realty「クラウドファンディング」  
URL <https://www.crowd-realty.com/glossary/ku/kuraudofandingu/39>  
閲覧日 2021年8月30日
- 4) READYFOR「和歌山アドベンチャーワールド 動物たちの未来をトモにつくろう」  
URL <https://readyfor.jp/projects/adventureworld>  
閲覧日 2021年8月30日
- 5) READYFOR「地域飲食店応援クラウドファンディングみらい飯」  
URL <https://readyfor.jp/projects/sakai>  
閲覧日 2021年8月30日
- 6) Charities Aid Foundation「CAF WORLD GIVING INDEX 10TH EDITION」  
2019年10月  
URL [https://www.cafonline.org/docs/default-source/about-us-publications/caf\\_wgi\\_10th\\_edition\\_report\\_2712a\\_web\\_101019.pdf](https://www.cafonline.org/docs/default-source/about-us-publications/caf_wgi_10th_edition_report_2712a_web_101019.pdf)  
閲覧日 2021年8月30日

